

WEL・NET

通信

- 特集1 ^{ひら} 機器が拓く新たなリハビリの世界
- 特集2 西リハスタッフの資格特集!
- 地域リハビリ研修会・地域のイベント・研修会情報 など

2019.11

発行日 令和元年 11月 1日
発行 西広島リハビリテーション病院
事業局
☎ 082-921-3230 (代表)
URL <http://www.welnet.jp/>
E-mail wel@welnet.jp

WELNET 通信は、西広島リハビリテーション病院の地域リハビリ・地域連携に関わる活動をご紹介します広報誌です



特集

^{ひら} 機器が拓く 新たなリハビリの世界

密着型歩行補助装置「RE-Gait®」装着時の歩行を、関節可動域測定装置「MMV 鑑 -AKIRA-」で測定している様子です。機器を活用することで訓練の選択肢が広がり、より個々の患者さんに適した訓練、より効果的な訓練を追求することができるようになります。私たちは考えています。

今回はリハビリ機器の特集です! ▶▶▶



医療法人社団朋和会

西広島リハビリテーション病院



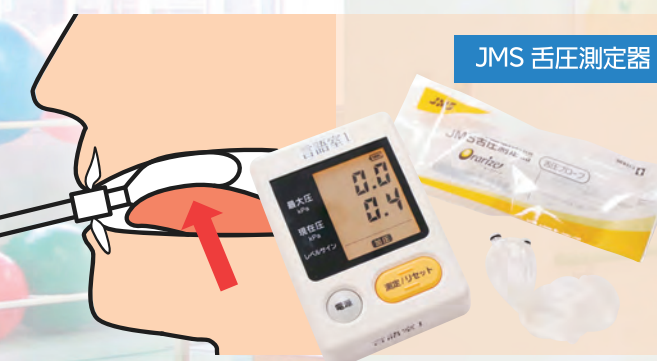
SMART NIRS

近赤外光を用いて脳の活動を計測する装置。運動中の脳の機能をリアルタイムで解析できるのが大きな特徴。



MMV 鑑-AKIRA

KINECT を用いた関節可動域測定装置。臨床で簡単に動画として撮影・再生でき、指定した部分の軌跡なども記録できる。

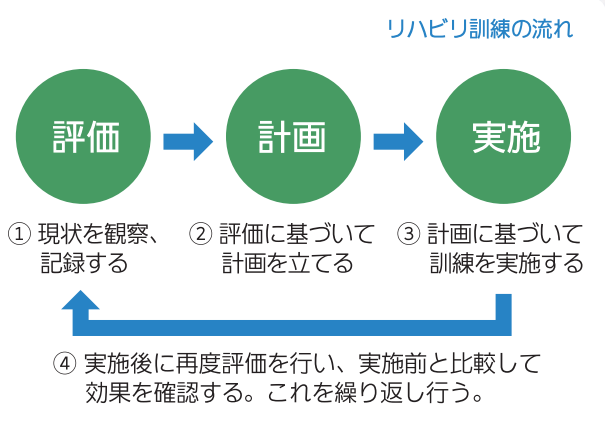


JMS 舌圧測定器

舌の運動機能 (舌圧) を測る機器。当院では舌圧 20-25Kpa 以上を常食が摂れる基準としている。

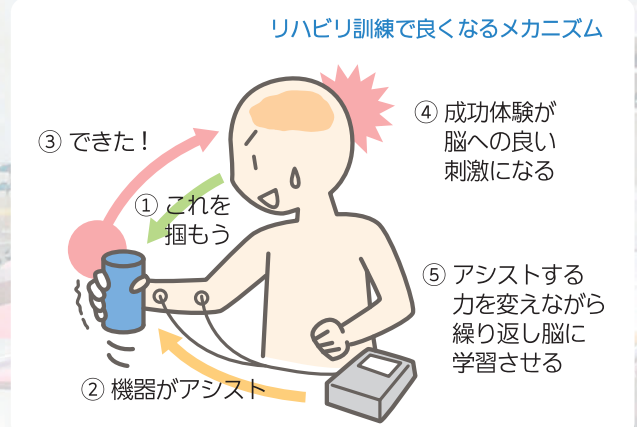
正確で迅速な **測定** で 分かりやすく 効果的なリハビリへ

リハビリテーション訓練は、患者さんの状態をよく観察・記録するところから始まります。これを「評価」といいます。評価に基づいて計画を立て、計画に基づいて実際の訓練を提供します。訓練の後には再度評価を行って、正しい方向へ進んでいるか、次に何を行うかを検討していきます。機器を導入することで、評価のための測定が迅速・正確に、そして情報量の多いものとなり、より適切で効果的な計画とフィードバックへつながります。変化が数値や画像で分かりやすく示されるため、患者さんとの認識の共有、モチベーションUP の効果も期待できます。



段階的な **アシスト** で 成功体験を脳に 刻みこむ!

脳卒中後のリハビリでは、患者さんが手足を積極的に使おうとすることで、脳に新しい神経回路ができると考えられています。麻痺した手足を動かすのは困難ですが、それをアシストする機器があります。大切なことは、機器の力を借りてでも、患者さん自身が「やろう」と思って努力すること、「できた!」という成功体験を積み重ねることです。この繰り返しが脳に良い刺激を与えられています。これらの機器は適切なフォームを繰り返し誘導したり、アシスト量を調整したりすることもできるため、患者さんが少しずつ良くなっていくための助けとなります。



RE-Gait®

足首の動きをコントロールすることが難しい患者さんの訓練に使用。足関節の動きをアシストする。



IVES+

DRIVE-R100

電気刺激を出して手指の動きをアシストする。動かしやすくなった状態で訓練を繰り返すことで徐々に回復を目指す。



ReoGo®-J

画面に表示されるポイントをなぞるようにアームを動かすことで、さまざまな腕の動きを反復訓練する。

他にもこんな機器があります



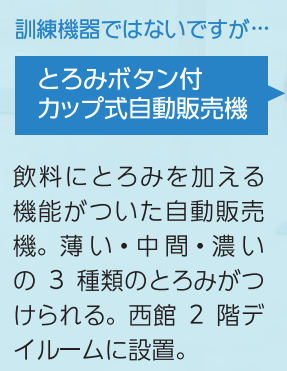
コグニバイク

認知トレーニングエルゴメーター
 認知課題を行いながらペダルを漕ぐことで、脳の活動を活性化させることを目指す。



POWER PLATE®

高速振動による刺激で身体の反応を引き出す。麻痺した手足の筋肉の緊張を一時的に和らげる効果もある。



訓練機器ではないですが…
 ところみボタン付
 カップ式自動販売機

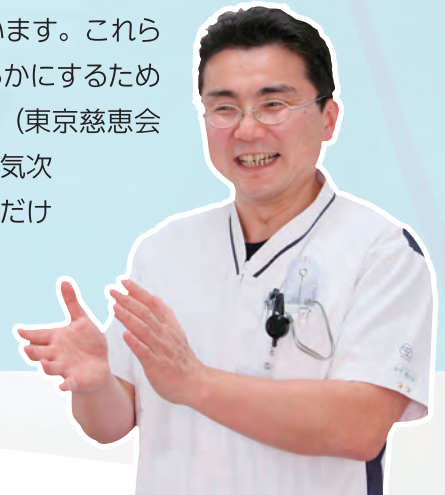
飲料にとろみを加える機能がついた自動販売機。薄い・中間・濃い の3種類のとろみがつけられる。西館2階デイルームに設置。



患者さんの「飲みたい!!」
 をアシスト!

患者さんの回復を最大限に援助できるよう、いろいろなリハビリ環境を提供できるように努めています。これらの機器の一部は、その効果を科学的に明らかにするために、他の施設と共同研究も行っています。(東京慈恵会医科大学、広島大学など) 患者さんのやる気次第でさまざまな訓練をどんどん行っていただける、そんな環境を整えたいと思っています。

たなか なおしろう
 リハビリ部長 田中 直次郎



2019 テーマ 介護要らずで元気に過ごそう

高齢者の運動不足や病気は、寝たきりのきっかけになります。介護要らずで元気に過ごすために、生活にどんなことを取り入れたら良いでしょうか？脳卒中の予防、健康管理、生活習慣、運動習慣、食事のことなど、リハビリ病院の専門家がそれぞれの視点でお話しします。

(本誌では、第1回～3回
の様子をご報告します)



- 1 脳卒中の予防と基礎知識
- 2 バランスの良い食事 簡単・便利に！
- 3 毎日の健康管理と口腔ケア
- 4 しっかり食べられる 口とのどの鍛え方
- 5 転倒しにくい体づくり

3 毎日の健康管理と口腔ケア

NO.117

9月7日(土) 参加者：28名

講師： 渡邊 賢一 (看護師)
折出 由起・尾川 直子 (歯科衛生士)

前半は血圧の基礎知識と測定方法を中心に、毎日の健康管理についてお話ししました。後半は歯周病と細菌の話、歯間ブラシの使い方(右写真)、唾液を増やす方法や顔ヨガの紹介をしました。



▲血圧の測り方



参加者の声

- ・さっそく血圧計を買って毎日をはかろうと思います。(一般参加者)
- ・歯周病の話、ブラシの使用方法、唾液パワー等とても参考になった。水分量を初めて測ってもらい安心しました。



今後も地域の皆さんの生活に役立つ講座を開催して参ります。最新の情報は当院ホームページをご覧ください。



西リハホームページ / 地域にお住いの皆さまへ / 地域リハビリ研修会
http://www.welnet.jp/hospital/local/reha_kensyu.html

1 脳卒中の予防と基礎知識

NO.115

7月6日(土) 参加者：45名

講師： 安東 誠一 (医師・副院長)

「寝たきり」「認知症」の原因の第1位である、脳卒中がテーマです。脳卒中の分類・脳の働きなどをふまえた上で、予防に必要な血圧や血糖のコントロールについてお話ししました。



▲質疑応答の様子



参加者の声

- ・言葉の意味の説明が特に分かりやすかったです。(ケアマネジャー)
- ・血圧のコントロールが大切なのが分かりました。(一般参加者)
- ・日常生活で健康管理に気を付けることを再認識しました。努力しようと、気持ちをあらたにしました。(一般参加者)

2 バランスの良い食事 簡単・便利に！

NO.116

8月10日(土) 参加者：28名

講師： 影山 典子 (管理栄養士・栄養課課長)

前半は毎日の食生活をチェックしていただき、必要な栄養素についてお話ししました。後半は塩分濃度の異なる味噌汁の飲み比べや、時短メニュー(鶏肉の卵とじ)の試食を行いました。



▲鶏肉の卵とじ



参加者の声

- ・味比べはとても勉強になりました。(患者さんご家族)
- ・いろんな工夫があり、楽しく研修することができた。(ケアマネジャー)
- ・たんぱく質の摂り方が少なかったです。もっと食べます。(一般参加者)
- ・簡単な料理の仕方が参考になりました。(一般参加者)

特集 2

西リハスタッフの資格特集！

認定看護師 (認知症看護)

2019.7.7

回復期リハビリテーション医療の対象の方の中には、認知症の方や、認知機能が低下した方もいらっしゃいます。その方々にとって入院生活は、よりストレスを強く感じ、混乱しやすい状況といえます。そのため、療養環境を整え、安心してリハビリテーションに取り組んでいただけるよう支援できればと考えています。



看護師・本館1階病棟棟長
さかの ゆかり
坂野 ゆかり

公認心理師 ※

※ 2019年に行われた第2回試験を受験し合格しました。現在、資格登録の手続き中です。

患者さんのご入院までの手続きやご案内・相談業務を担当しています。患者さん・ご家族の不安や葛藤を少しでも和らげることができるよう、心理的な支援はもちろんのこと、院内での連携や急性期病院の皆様との連携をより一層強固なものにし、多職種での多角的な支援を行っていきたくと考えています。



地域連携部 サービス開発室
ひがし ひさかつ
臨床心理士 東 久勝

佐伯区介護予防拠点整備事業 第2回佐伯区いきいき百歳体操交流会

2019.6.19 石内福祉センター

佐伯区の介護予防拠点で「いきいき百歳体操」に取り組まれている皆さんにお集まりいただき、運動のアドバイスや情報交換などを行いました。当院からは岡光孝(作業療法士・地域連携部副部長)と藤高祐太(理学療法士・副主任)が、運営スタッフとして参加しました。

「いきいき百歳体操」は、重りを使った筋力向上のための体操で、元祖は高知市で開発されたものです。これをもとに広島市では「がんばれカープ!!ひろしま百歳体操」が作成され、地域の皆さんに親しまれています。



▲ 体力測定の正しいやり方を解説
グループに分かれての質疑応答
▼ 最後にみんなで記念撮影!



令和元年度 第1回 広島県回復期リハの会 研修会

2019.6.28 広島県医師会館ホール



「2020 診療報酬改定を見据え これからの回復期リハ・生活期リハの目指すべき方向性～厚生労働省・厚生局共同指導の注意点も含めて～」と題し、三橋尚志先生(回復期リハビリテーション病棟協会会長・京都大原記念病院副院長)よりご講演をいただきました。会員病院を中心に241名の参加がありました。地域リハビリとそれを見据えた回復期リハビリの在り方、京都大原記念病院での取り組み等について、お話しいただきました。

広島県介護支援専門員協会 佐伯区介護支援専門員 自主勉強会

2019.10.15 佐伯区役所

介護支援専門員(ケアマネジャー)のための勉強会にて、当院の岡本隆嗣(医師・病院長)・本田賢次郎(理学療法士・西リハ訪問リハビリテーション所長)が講師をつとめました。テーマは「リハビリテーションサマリー、報告書内の評価結果をどう考えるか」です。地域に帰られる皆さんの状況をケアマネジャーの皆さんとしっかり共有できるように、サマリーや報告書の見方、ICFの考え方等について、講義しました。



職員のメディア掲載・学会発表情報です。(2019年5月～10月)

※ 医師やスタッフの肩書き/氏名は掲載時点のものであり、現在は変更している可能性があります。 ※ 学会発表は筆頭発表者のみ表記しています。
※ DR:医師 PT:理学療法士 OT:作業療法士 ST:言語聴覚士 RM:リハビリマネージャー NS:看護師 CW:介護福祉士 CP:公認心理師 RD:管理栄養士

新聞・雑誌掲載

- 2019.6.9 中国新聞 「卒業生・学生に聞くわが大学いおし」
学びを活かし患者ケア 東佳奈子(PT)
- 2019.6 学校法人古沢学園 広島都市学園大学 2020 Campus Guide p.16
患者さんの人生に関わるやりがいのある仕事 東佳奈子(PT)
- 2019.10.1 公益社団法人 広島県理学療法士会 HPTA NEWS One step No.259
藤高祐太(理学療法士・副主任) / 中臺久恵(理学療法士)

外部講演

- 2019.5.11・9.28 第17回 回復期リハ病棟専従医師研修会
高次脳機能障害のリハビリテーション 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.5.18 2019年度5支部合同進路相談会
看護師への道 杉本真理子(NS・副院長・看護介護部部長)
- 2019.5.25-26 第54回 日本理学療法学会学術大会
Honda 歩行アシストの有効活用 基礎編・応用編 松下信郎(PT・主任)
- 2019.6.5 2019年度日赤広島赤十字看護大学 摂食・嚥下障害看護
認定看護師教育課程 リハビリテーション総論
摂食・嚥下リハビリテーションにおけるチームアプローチ 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.6.12 KRWA Sponsored Symposium ISPRM2019 (国際リハ学会)
JARM2019 Joint Special Session
Inpatient Rehabilitation System 岡本隆嗣(DR・病院長)
1. "Kaifukuki Rehabilitation Ward" in Japan
- 2019.6.13-15 第56回 日本リハビリテーション医学会学術集会
合同シンポジウム 05 リハビリテーション科医は生活期のリハビリテーション医療にどのようにかわるべきか
社会での活動にどのようにかわるべきか 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 合同シンポジウム 15 先端医療機器と臨床応用
HONDA 歩行アシストの臨床応用 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.6.19 第2回 佐伯区百歳体操交流会
体力測定を自分たちでやってみよう! 藤高祐太(PT・副主任)
- 2019.7.5 第5回 看護リーダー・主任研修会
患者の主体性回復に向けた当院の取り組み 永見茜(NS・師長)
- 2019.7.19 第21回 日本医療マネジメント学会
シンポジウム 4 ロボット工学とリハビリテーション
回復期リハビリテーション病棟における歩行訓練
～HONDA 歩行アシストの活用～ 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.7.21 公益社団法人日本理学療法士協会 新人教育プログラム研修会
リスクマネジメント 藤高祐太(PT・副主任)
- 2019.8.1 痙縮治療実践 Web 講演会
ボツリヌス治療の効果最大化を目指して
～患者の声から考える継続治療の意義～ 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.8.26・10.25 第13回・第14回 介護研修会 講演I 回復期リハビリテーション病棟総論
24時間を支えるリハビリテーション 介護職に期待すること 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.9.4 痙縮治療実践セミナー
演題②「回復期での痙縮治療と課題」 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.9.18 第17回 備後脳卒中連携バス 特別講演
回復期・生活期リハビリテーションのプロセスとマネジメント
～脳卒中ガイドライン 2015を含めて～ 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.9.21 理学療法士会講習会(基本編 理論)
脳卒中治療の最新知見と脳卒中理学療法への応用～理論と実際～ 田中直次郎(PT・リハビリ部部長)
- 2019.10.11 別府リハビリテーション病院 研修会
西広島リハビリテーション病院でのカンファレンスの取り組み 田中直次郎(PT・リハビリ部部長)
- 2019.10.15 佐伯区 ケアマネジャー自主勉強会
リハビリテーションサマリー、報告書内の評価結果をどう考えるか 岡本隆嗣(DR・病院長) / 本田賢次郎(PT・西リハ訪問リハビリテーション所長)

- 2019.10.17 特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター 院内研修会
接遇 西リハの取り組み 岡本隆嗣(DR・病院長) / 杉本真理子(NS・副院長・看護介護部部長) / 藤田浩之(事務・施設管理課長)・小川美歩(事務)
- 2019.10.18 Live Symposium 病院経営
次期改定を見据えた回復期リハビリテーション病棟の戦略を考える
次期改定に向けた当院の取り組み 岡本隆嗣(DR・病院長)

学会発表

- 2019.6.2 広島県言語聴覚士会 学術大会
失語症者の会話パートナーに求められるコミュニケーションスキル
-アプリを含む AAC 活用- 白川由莉奈(ST)
- 2019.6.28-29 第20回 日本言語聴覚学会 in おおいた
ことばのケア利用の効果 大瀧浩之(ST)
- 2019.8.31-9.1 第38回 日本臨床運動療法学会大会
メディカルフィットネスにおける健康運動指導士を中心としたメタボリックシンドローム改善プログラムの効果 伊藤三千雄(健康運動指導士)
- フィットネスジム会員の健康に対する運動及び栄養の支援に向けた意識調査 瀧彩華(健康運動指導士)
- 2019.8.31-9.1 第23回 日本看護管理学会学術集会 シンポジウム 4
介護職と看護職のタスクシフティング・シェアリング
～介護職の立場から～ 井村太治(CW・主任)
- 2019.9.14-15 第16回 全国病院広報実務者会議
広報の在り方と情報収集の工夫～研究実績収集活動を通して～ 小川美歩(事務)
- 2019.9.21-22 第19回 日本音楽療法学会
回復期リハビリテーション病棟の意識障害者に対する音楽療法と作業療法の併用効果 大瀧智陽(音楽療法士)

専門雑誌・書籍

- 2019.6.15 脳卒中・基礎知識から最新リハビリテーションまで pp.374-379
片麻痺(痙縮を含む)のリハビリテーション 田中直次郎(PT・リハビリ部部長) / 岡本隆嗣(DR・病院長)
- 2019.7.10 リハビリナース 第12巻4号 p.1
わたしのリハマインド「語り継ぐ、わたしのリハビリテーション
看護への熱い思い」 杉本真理子(NS・副院長・看護介護部部長)
- 2019.8.15 Journal of CLIMICAL REHABILITATION 第28巻9号 pp.850-856
特集回復期リハビリテーションの安全管理の実際と課題
安全管理への取り組み④ 西広島リハビリテーション病院における
実際と課題 岡本隆嗣(DR・病院長) / 安東誠一(DR・副院長) / 永見茜(NS・師長) / 福江亮(PT・RM) / 小川美歩(事務) / 白岡幸子(OT・主任)
- 2019.8.18 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第56巻8号
pp.623-629
特集 脳腫瘍 5 脳腫瘍患者と回復期リハビリテーション病棟
長谷川雄紀(DR)
- 2019.8.26 栄養経営エキスパート 別冊 pp.64-66
摂食嚥下リハビリテーションと栄養ケア
コード1jにおける評価と物性 渡邊光子(ST・主任)
- 2019.9.10 リハビリナース 第12巻5号
pp.6-12 離床させて、なにをする? -ICFから考える
岡本隆嗣(DR・病院長)
- pp.42-46 「できるADL」を「しているADL」にするための取
組み -上肢麻痺肢に使用した「病棟チェックリスト」
玉代浩章(OT・主任)
- 2019.9.10 Nutrition Care 第12巻9号 pp.33-37
5 食事介助に便利な食具・食器(補助具) 渡邊光子(ST・主任)
- 2019.9.10 介護技術ハンドブック pp.94-116 第6章 入浴 長岡倫子(CW)

チーム紹介！
院内コンビニ
生活彩家

2019年8月21日に、西館5階売店が院内コンビニ「生活彩家」としてリニューアルオープンしました！

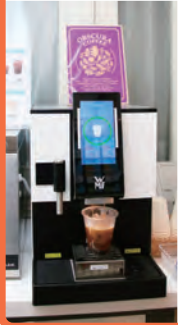


「生活彩家」とは？

ポプラが展開するコンビニエンスストアです。従来の売店から取扱商品が大幅に増え、おむつや歯ブラシなど入院生活で必要となる商品もこれまで通り取り揃えています。

ポプラと当院は「災害時における物資供給の協定」を締結しており、当院において大規模災害が発生した場合に、被災者に対してより迅速かつ円滑に物資を供給できるよう、協力体制を整えています。

「生活彩家」の各
公共料金や通販等の各



種料金収納代行が可能になりました。また、お支払方法としてバーコード決済・電子マネー・クレジットカードが利用可能となり、10月からのキャッシュレスポイント還元にも対応しています。

おすすめポイントは？

「BOSSCURA」(東京の三軒茶屋、広島の本通り・袋町に店舗を持つ専門店)のコーヒーを、特別にコンビニ価格でご提供しています。

医療法人社団朋和会 基本理念

信じ合い、明日を拓く

私たちは「信じ合い、明日を拓く」という言葉を基本理念としております。
「信じ合う」という言葉は、患者さんと職員との信頼関係とともに、職員間の信頼関係をも含んでおります。理想的なリハビリテーションは、ひとりの患者さんを中心に全スタッフが取り組むチーム医療が原点です。たしかな信頼関係のもと、全職員が心をひとつにして治療に取り組めばそこには安心感が生まれ、患者さんに、より大きなご満足いただけるものと信じております。
「明日を拓く」という言葉は、現状に満足することなく未来へ向けて挑戦したいという私たちの願いです。超スピードで進化する医学の流れをしっかりと見定め、フロンティア・スピリッツを胸に、どんな困難にも立ち向かっていきたいという気持ちをこの言葉で表現しました。
「信じ合い、明日を拓く」この言葉をいつも大切に考え、患者さんやご家族の皆さん、受診者の皆さんにご奉仕し、地域社会の発展に寄与していきたいと心より願っております。

医療法人社団 朋和会
初代理事長 岡本則昭

医療法人社団朋和会
西広島リハビリテーション病院

〒731-5143 広島市佐伯区三宅6丁目265番地
TEL (082) 921-3230 (代表)
FAX (082) 921-3237 E-mail wel@welnet.jp
URL <http://www.welnet.jp/>

★ 理事長・病院長：岡本 隆嗣



★ 広島中心部より車で約30分 ★ 広電楽々園駅より車で約10分 ★ JR五日市駅南口よりバスで15分

